

# 富士未来学Ⅵ

## －進路探究

### 進路探究でできるようになること

富士未来学で取り組んできた探究と関連させて、現在の自分や、将来の自分について考えることをとおして、進路実現に向けた自己分析をすることができる。

### 進路探究で学ぶこと

富士未来学で取り組んできた探究と関連させて、現在の自分や、将来の自分について考えることをとおして、進路実現においても探究する姿勢が欠かせないことを学ぶ。

月 日 ( )

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校



高校3年 組 番 氏名



## 進路探究①

ルーブリックを見返しながら、自己の到達度を確認し、改善を図りましょう。

| 育成したい資質・能力 | グランドデザインの観点 | 評価の観点 | 評価の対象 | 高度に達成されている                                                                                                     | 達成されている                                                                                            | 一部に課題あり                                                                                          | 自己評価 | 教員による評価 |
|------------|-------------|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
|            |             |       |       | A                                                                                                              | B                                                                                                  | C                                                                                                |      |         |
| 教養力        | 論理表現        | 知識・技能 | 全ての記述 | 2において、探究とは何かについて自分の考えを理由とともに記述し、3と4において、自分の長所と他者から見た長所を記述し、5において、探究と将来の自分についての考えを理由とともに記述している。全ての記述が問いに正対している。 | 2において、探究とは何かについて自分の考えを記述し、3と4において、自分の長所と他者から見た長所を記述し、5において、探究と将来の自分についての考えを記述している。全ての記述が問いに正対している。 | 2において、探究とは何かについて自分の考えを記述し、3と4において、自分の長所と他者から見た長所を記述し、5において、探究と将来の自分についての考えを記述しているが、正対していない記述がある。 |      |         |

### 1 進路探究

富士未来学で取り組んできた探究から、現在の自分は何を得られたかについて考えます。また、探究から得られたことを将来の自分はどのように生かしていきたいかについても考え、**進路実現に向けた自己分析**をします。

### 2 探究とは何か

探究とは何かについて、自分がどのように考えているか、理由とともに記述しましょう。

### 3 探究と現在の自分

探究から得られたこと経験とともに、あなたの長所を記述しましょう。



## 4 他者から見た自分

他者から言われた自分の長所を記述しましょう。

## 5 探究と将来の自分

探究から得られたことを、将来（大学や企業などで）、どのように生かしていけるか、自分の考えを理由とともに記述しましょう。

この講座でどのような力が身に付いたか、ループリックで振り返りをしましょう。

### 引用文献

- (1) 東京都立富士高等学校・東京都立富士高等学校附属中学校（2021）『令和3年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施計画書【開発型・実践型】』



## 進路探究②

ルーブリックを見返しながら、自己の到達度を確認し、改善を図りましょう。

| 育成したい資質・能力 | グランドデザインとの関係 | 評価の観点 | 評価の対象  | 高度に達成されている                                                                                       | 達成されている                                                                                        | 一部に課題あり                                                                    | 自己評価 | 教員による評価 |
|------------|--------------|-------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------|---------|
|            |              |       |        | A                                                                                                | B                                                                                              | C                                                                          |      |         |
| 教養力        | 論理表現         | 知識・技能 | 7と8の記述 | 7において、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」のそれぞれについて、富士未来学で取り組んだ探究と関連付けて記述している。8において、他者の考えから気付いたことを複数記述している。 | 7において、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」のそれぞれについて、富士未来学で取り組んだ探究と関連付けて記述している。8において、他者の考えから気付いたことを記述している。 | 7において、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」のそれぞれについて記述している。8において、他者の考えから気付いたことを記述している。 |      |         |

## 6 社会人基礎力

「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年に提唱したものです。富士未来学では、「教養力」「調和力」に加え、「挑戦力」「理数的発見力」「理数的解決力」の育成を図ってきました。富士未来学で取り組んできた探究を踏まえて、「社会人基礎力」について考えましょう。

経済産業省が主催した有識者会議により、**職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(＝3つの能力・12の能力要素)」として定義。**

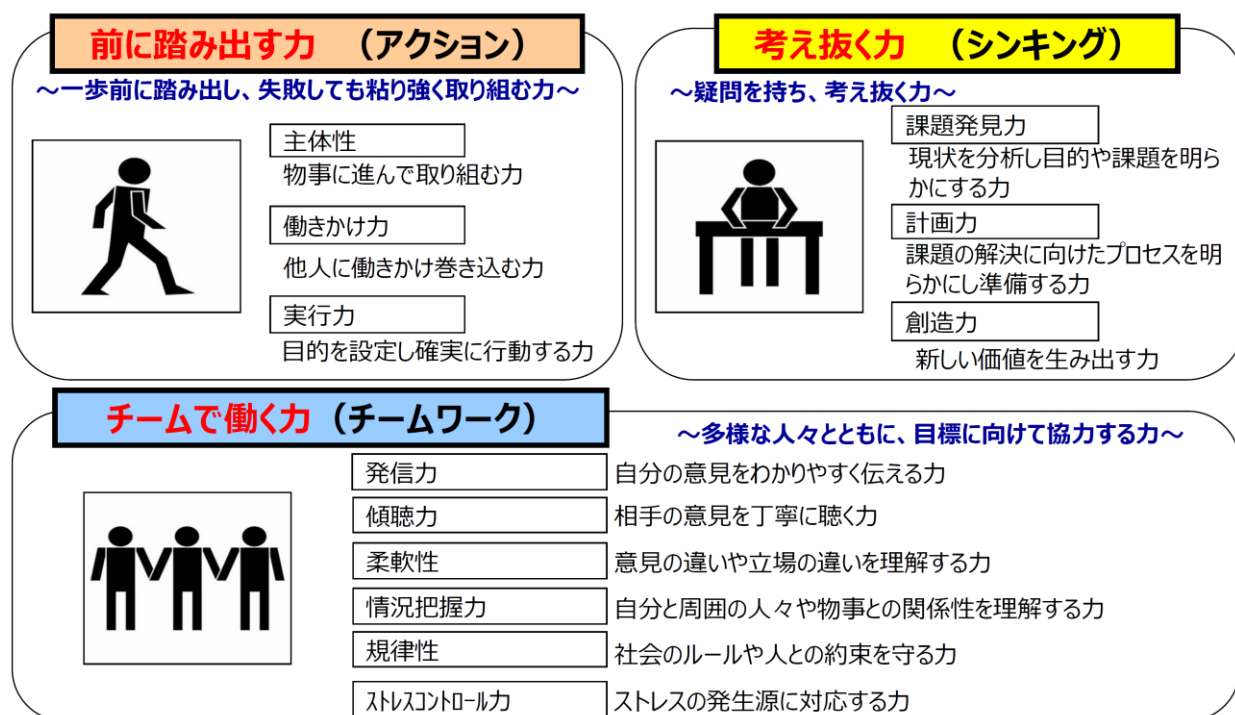


図1 社会人基礎力（経済産業省ホームページより）



## 7 探究と社会人基礎力

「社会人基礎力」である「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」といったそれぞれの能力が、富士未来学で取り組んできた探究によってどのように育成されたか、理由とともに記述しましょう。



## 8 他者の考えから気付いたこと

他者の考えを聴いて、気付いたことを複数記述しましょう。

本校のSSH事業は、皆さんが卒業し、**15年後の世界で活躍する姿**を想像しながら設計されたものです。当たり前のことが当たり前ではなくなる変化の激しい時代を生き抜き、世界に貢献する新たな価値を生み出していく必要があります。

理科と数学の見方・考え方を働かせて課題を発見する力である「**理数的発見力**」、発見した課題を解決する力である「**理数的解決力**」、そしてそれらの力を働かせるための「**挑戦力**」、これら3つの資質・能力を兼ね備えた、新たな価値を創造する科学的グローバルイノベーターである「**富士山型探究者**」となって、**世界のあらゆる分野に挑戦し活躍**することを願っています。

この講座でどのような力が身に付いたか、ループリックで振り返りをしましょう。

### 引用文献

- (1) 経済産業省ホームページ『「人生100年時代の社会人基礎力」説明資料』  
<https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>（2024年9月23日閲覧）
- (2) 東京都立富士高等学校・東京都立富士高等学校附属中学校（2021）『令和3年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施計画書【開発型・実践型】』